


安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名称	マウスPBMC
製品番号	#TLMC-001
構成品名	細胞
会社名	株式会社TL Genomics
住所	東京都小金井市中町2-24-16
電話番号	042-316-1636
電子メールアドレス	info@tl-genomics.com
緊急連絡電話番号	042-316-1636
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分該当有害成分 健康有害性シンボル該当成分 ジメチルスルホキシド	
注意書き	本製品は動物由来製品である。健康な動物の末梢血から分離されているが、潜在的な感染リスクを考慮し、十分な安全対策をもって取り扱うこと。	
安全対策	取り扱い後は汚染箇所を良く洗うこと。 適切な保護具を着用すること。	
廃棄	内容物/容器を地方/国の規則に従って、感染性廃棄物として処分すること。	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分	動物（マウス/ラット/ウサギ/サル）末梢血単核細胞、培地（無機塩、ビタミン、アミノ酸、炭水素）
危険有害成分	毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

組成物質名	CAS登録番号	化管法指定化学物質の種別	濃度又は濃度範囲
ジメチルスルホキシド	67-68-5	2-1553・-	10%
培地成分	-	-	10%以下
ウシ血清	-	-	80%以下

その他、pH調整剤等を含む。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合	皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を全て脱ぐこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。医療者の指示なく吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	皮膚浸透性の高い製品、救助者は保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡、炭酸ガス、粉末消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性、または腐食性のガスを発生する恐れがある。
消火活動を行う者の保護	消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用防護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な防護具を着用する。
---------------------------	---

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>眼、皮膚への接触やガスの吸引を避ける。 下水、排水中に流してはならない。 エアロゾルが落ちてくのを待ち防護具を着用し、漏洩物をペーパータオルでそっと覆い、1%次亜塩素酸ナトリウムを周囲から中心に向かって塗布、十分な接触時間を確保した後（約30分）回収する。回収物は生体試料としての適切な処分を行う。汚染箇所は完全に浄化する。</p>
-------------------------------	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>技術的対策 (注意事項) 皮膚や眼との接触を避けること。 安全取扱い注意事項 適切な防護具を着用すること。 取り扱い後は手、汚染箇所を良く洗う。 接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。 衛生対策 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には選択をすること。</p>
保管	<p>安全な保管条件 液体窒素中で保存すること。 安全な容器包装材料 本製品に使用されている容器内で保管する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	データなし
許容濃度	データなし
ばく露防止 設備対策	<p>適切な換気のある場所で取扱う。 洗浄設備、安全シャワーを設けること。</p>
保護具	<p>呼吸用保護具 換気が不十分な場合、呼吸用防護具を着用すること。 手の保護具 防護手袋を着用する。(耐薬品性) 眼、顔面の保護具 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用する。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	物理状態	凍結細胞 透明～黄褐色、透明～赤味
	色	
	臭い	データなし
融点・凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
水に対する溶解度		データなし
溶媒に対する溶解度		データなし
n-オクタノール/水分係数 (log値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び/又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性		データなし
化学的安定性		通常の取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		高温、火気
混触危険物質		データなし
危険有害な分解生成物		データなし
1 1. 有害性情報		
急性毒性（経口）		[日本公表根拠データ] (ジメチルスルホキシド) rat LD50 = 14500mg/Kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性（経皮）		[日本公表根拠データ] (ジメチルスルホキシド) rat LD50 = 14500mg/Kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
急性毒性（吸入：）		[日本公表根拠データ] (ジメチルスルホキシド) rat LD50 = 14500mg/Kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)
皮膚腐食性／刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		データなし
呼吸器感受性		データなし
皮膚感受性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
生殖毒性・授乳影響		データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		[区分2] [日本公表根拠データ] (ジメチルスルホキシド) 呼吸器 (SIDS, 2008)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		データなし
誤えん有害性		データなし
潜在的な健康への影響：		吸引や接触、摂取により皮膚、眼、呼吸器系に刺激のおそれがある。
その他の情報：		この製品に含まれるジメチルスルホキシドは経皮浸透性が非常に高く、皮膚浸透性物質の吸収を促進する。 この製品の毒性学的特性は完全に調査されていない。
1 2. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性)	[日本公表根拠データ] (ジメチルスルホキシド) 甲殻類 (ブラインシュリンプ) EC50 = 6830mg/L24hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)
	水溶解度	(ジメチルスルホキシド) 混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性		データなし
生態蓄積性		(ジメチルスルホキシド) log Pow = 1.35(calculated)(ICSC, 2000)
土壌中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データなし
1 3. 廃棄上の注意		
廃棄物の処理方法		内容物/容器を地方/国の規則に従って、感染性廃棄物として処分すること。
汚染容器及び包装		容器の再利用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。 地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。
1 4. 輸送上の注意		
国際規制	国連番号、国連分類	非該当
注意事項		輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規則情報

非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化審法	非該当
消防法	非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)Supplier's data/information
[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知見及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取扱っていただくための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。